

《第 33 号》「人と地球にやさしいフェアトレード」

サフィア・ミニー(ピープル・ツリー、グローバル・ヴィレッジ代表)

今ほど、利益を追求するだけでなく、人と地球に配慮した持続可能な経済のモデルが必要とされている時はありません。私たちは、戦後約 50 年間にわたり、人や環境に対する政府の支援もないまま自由経済のシステムに頼り続けていました。弱い立場にいる人々に、最も支援を必要としている人々に生活ができるだけの収入をもたらすことができないこの経済システムは、もはや機能していません。今こそ、持続的に機能するオルタナティブな経済モデルが必要なのです。

私たちピープル・ツリーでは、インド、バングラディシュ、ネパール、ケニア、ペルーをはじめとする世界 15 カ国・50 団体の生産者パートナーと一緒に、衣料品からアクセサリー、雑貨や食品までをフェアトレードで作っています。現地に根づく自然素材と手仕事の伝統技術を生かしたフェアトレードの商品作りを通して、社会的・経済的に立場の弱い人々に仕事の機会を作り出し、彼らに公正な対価を支払うことで自ら暮らしを向上させ、自立できるよう支援をしています。

ピープル・ツリーが展開しているようなソーシャル・ビジネス(社会企業)は、フェアトレードという人と地球にやさしい貿易の仕組みを通して、立場の弱い人々を支援しながら、同時に環境を保護することもできることを証明しているのです。日本では、南北問題や環境問題について知る機会がまだまだ少ないと思います。もっと問題解決について考え、行動を起こすきっかけを人々に提供すべきではないでしょうか。そういった現状について知ることができれば、お買い物をする時に人や環境にやさしい商品を選んだり、勤め先の会社でも使っている資材の調達方法が変わるかもしれないのです。

まずは、知ることから、私たちと一緒に始めませんか。

以上